

4 衛生費 1 保健衛生費 1 保健衛生総務費

保健衛生事務費（健康推進課）

- 1 保健師・栄養士活動に必要な各種研究会・研修会に参加した。
- 2 各種保健予防事業を遂行するにあたり、乙訓二市一町及び(社)乙訓医師会、乙訓保健所等で構成する各種会議を行った。

今年度は、乙訓保健予防協議会の事務局として、会議運営を行った。

乙訓二市一町と(社)乙訓医師会保健・医療・福祉(介護)協議会 3回

乙訓二市一町と(社)乙訓医師会保健・医療・福祉(介護)協議会特定健康診査等小委員会・作業部会 10回

特定健康診査等行政調整会議 7回

乙訓保健予防行政事務協議会 10回

乙訓保健事業運営委員会 14回

地域医療対策費（健康推進課）

乙訓休日応急診療所運営事業・在宅外科当番医制事業及び病院群輪番制病院運営事業により、休日及び救急時の医療を確保し、市民が安心できる医療体制の整備を図った。

1 乙訓休日応急診療所利用状況

(単位：人)

診療日数 71日	合計	年齢別内訳			病類別内訳				居住地別内訳				
		0~5歳	6~15歳	16歳以上	呼吸器	消化器	循環器	その他	向日市	長岡京市	大山崎町	京都市	その他
患者数(人)	4,354	2,073	994	1,287	2,863	876	11	604	1,098	2,061	301	721	173
構成比(%)	100.0	47.6	22.8	29.6	65.8	20.1	0.3	13.8	25.2	47.3	6.9	16.6	4.0

2 在宅外科当番医制事業利用状況

(単位：人)

診療日数 (71日)	外科受診者数	年齢別内訳				住所別内訳			二次後送 の人数
		0歳~6歳	7歳~15歳	16歳~64歳	65歳以上	向日市	長岡京市	大山崎町	
患者数	402	65	43	204	90	101	266	35	4
1日平均	5.7	0.9	0.6	2.9	1.3	1.4	3.7	0.5	

実施医療機関実数：27施設(診療所22、病院5)

実施医療機関延べ数：71施設(診療所23、病院48)

3 病院群輪番制病院運営事業利用状況

(単位：人)

居住地区分	入院					入院 合計	外来					外来 合計	総計	
	内科	外科	小児科	脳外科	その他		内科	外科	小児科	脳外科	その他			
乙訓	向日市	11	4	9	1	8	33	55	72	229	3	37	396	429
	長岡京市	10	9	7	0	13	39	92	92	392	2	66	644	683
	大山崎町	2	1	1	0	0	4	15	13	42	0	7	77	81
京都市	256	85	69	28	84	522	986	612	1,571	71	317	3,557	4,079	
その他	40	18	7	10	32	107	185	139	184	23	77	608	715	

献血推進対策費（健康推進課）

市内6会場において、献血運動を行った。

実施回数	来所者数	採血者数	200ml 献血	400ml 献血
15回	430人	355人	5人	350人

保健センター等管理運営費（健康推進課）

保健センター（昭和58年度開設）の運営に伴う維持管理に要する経費を執行した。保健センターは、平成14年10月から子育てセンター「すこやか」と家庭児童相談室、さらに平成15年度からファミリーサポートセンターが併設され、健康推進課と合わせて4部門が共用する多機能施設となっている。

	成人保健関係	母子保健関係	子育てセンター	ファミリーサポートセンター	家庭児童相談室
事業開催回数	81回	322回	54回	17回	
延べ参加者数	2,079人	7,751人	1,662人	278人	45人
会議・研修会等の開催回数	17回	9回	11回	13回	7回

4 衛生費 1 保健衛生費 2 予防費

予防接種費（健康推進課）

予防接種事業

予防接種法に基づく定期予防接種（ジフテリア・百日せき・破傷風・急性灰白髄炎・麻しん・風しん・日本脳炎）を実施した。

1 集団接種

種別	対象	通知者数	実施実人数	接種率
急性灰白髄炎（ポリオ）	平成18年11月1日～平成20年4月30日生	1,142人	1,108人	97.0%

2 個別接種

種類	対象者	対象者数	接種者数	接種率	
三種混合	1期初回	平成19年11月1日生～平成20年10月31日生	延べ 1,638人	1,748人	106.7%
	1期追加	平成18年12月1日生～平成19年11月30日生	546	553	101.3%
	2期	平成8年4月2日生～平成9年4月1日生	536	382	71.3%
麻しん風しん第1期	平成18年4月1日生～平成19年3月31日生	571	557	97.5%	
麻しん風しん第2期	平成14年4月2日生～平成15年4月1日生	537	517	96.3%	
麻しん風しん第3期	平成7年4月2日生～平成8年4月1日生	489	414	85.2%	
			風しん単抗原 2		
麻しん風しん第4期	平成2年4月2日生～平成3年4月1日生	474	381	80.6%	
			麻しん単抗原 1		
日本脳炎第1期	3歳～7歳未満	-	15	-	
日本脳炎第2期	9歳～13歳未満	-	2	-	
インフルエンザ	65歳以上の入	11,072	5,531	50.0%	
	60～64歳以上で身障内部疾患1級相当の人				

日本脳炎予防接種は、積極的勧奨を差し控え、接種希望者にのみ接種を行った。

結核予防費（健康推進課）

結核予防対策事業

平成19年4月に結核予防法が廃止されたことに伴い、予防接種法に基づき、定期予防接種として、生後6か月までの乳児を対象にBCG予防接種を実施した（乳児前期健診と同時実施）。

また、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、65歳以上の市民を対象に定期健康診断として胸部エックス線検査を肺がん検診と同時に市内9会場（5日間）で実施した。

1 定期接種

種 別	対 象	回 数	対象者数	接種者数	接 種 率
B C G	平成19年11月18日～平成20年12月10日生	23 回	582 人	575 人	98.8 %

2 任意BCG接種助成事業

平成19年度から、基礎疾患を有するために生後6か月までにBCG接種をできなかった乳児が、生後6か月から満1歳未満の間に任意のBCG接種を受けた場合の費用助成を行った。 助成人数 1人

3 胸部エックス線検査

結核検査（間接撮影）

実 施 月	実施回数	受診者数	要精検者数	精 検 結 果			未 受 診	医療機関紹介
				異常なし	結 核	要 観 察		
8・9月	10 回	456 人	16(11) 人	0 人	0 人	4 人	1 人	5 人

（ ）内は肺がん検診の結果、要精検となった人数

4 衛生費 1 保健衛生費 3 成人保健費

成人保健事業費（健康推進課）

1 健康診査事業

(1) 30歳代の健康診査

「自分のからだに適した生活習慣となっているか」を確認し、健診結果を活用して生涯に渡って自覚的に健康づくりが進められるよう、30歳代の市民を対象とした健康診査を、保健センターで3日間実施した。

ア 検査項目

問診、身体測定（身長・体重・腹囲）、理学的検査、血圧測定、検尿（蛋白・糖）、血液検査（赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値・GOT・GPT・-GTP・LDLコレステロール・中性脂肪・HDLコレステロール・尿酸・クレアチニン・血糖・ヘモグロビンA1c）

イ 受診状況

受診者数	メタボリック判定該当	メタボリック判定非該当
348 人	47 人	301 人

(2) 健康増進法による健康診査

生活保護を受給されている方など特定健康診査を受ける機会がない市民に対して、9月から11月の3か月間、個別医療機関において健康診査を実施した。また、65歳以上で介護認定を受けていない方には、介護保険による生活機能評価も同時に行った。

ア 検査項目

問診、身体測定（身長・体重・腹囲）、理学的検査、血圧測定、検尿（蛋白・糖）、血液検査（赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値・GOT・GPT・-GTP・LDLコレステロール・中性脂肪・HDLコレステロール・尿酸・クレアチニン・血糖・ヘモグロビンA1c）、必要者には心電図

イ 受診状況

	受診者数	メタボ基準該当	メタボ予備軍	その他
生活保護を受給されている方	40 人	6 人	5 人	29 人
国保異動者	39 人	11 人	4 人	24 人

(3) 長寿(後期高齢者)健康診査

後期高齢者医療対象の方について、個別医療機関において9月から11月の3か月間、健康診査を実施した。また、要介護認定を受けていない方には、介護保険による生活機能評価も同時に行った。

ア 検査項目

問診、身体測定（身長・体重）、理学的検査、血圧測定、検尿（蛋白・糖）、血液検査（赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値・GOT・GPT・-GTP・LDLコレステロール・中性脂肪・HDLコレステロール・尿酸・クレアチニン・血糖・ヘモグロビンA1c）、心電図

イ 受診状況

受診者数
1,942 人

2 がん検診事業など

(1) 胃がん検診

40歳以上の市民を対象に、保健センターにおいて9日間実施した。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果			精検未受診
				異常なし	胃が ん	他 病	
674 人	597 人	77 人	11.4 %	6 人	1 人	67 人	3 人

(2) 子宮がん検診

ア 子宮頸がん検診

和暦で偶数年生まれの20歳以上の女性を対象に、4月から翌年2月末までの11か月間、委託医療機関において実施した。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精 検 未 受 診
				異常なし	子宮がん	異形成	他 病	不 明	
1,143 人	1,128 人	15 人	1.3 %	2 人	2 人	4 人	0 人	0 人	7 人

イ 子宮体がん検診

頸がん検診を受診した方で、ハイリスク者及び医師が必要と認める方を対象に実施した。

受診者数	異常なし	判定不能	要精検者数	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
					異常なし	子宮体がん	他病	不明	
241人	232人	8人	1人	0.4%	0人	0人	1人	0人	0人

(3) 乳がん検診

医師による視触診とマンモグラフィ撮影（乳房専用レントゲン撮影）により、40歳以上の和暦で偶数年生まれの女性を対象に、保健センターにおいて9日間実施した。

また、保健師により「自己触診法」の健康教育を同時に実施した。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果								精検未受診
				異常なし	乳がん	乳がんの疑い	線維腺腫	のう胞症	乳腺症	その他の疾患	判定不能	
617人	554人	63人	10.2%	28人	3人	0人	2人	8人	13人	2人	4人	3人

(4) 肺がん検診

40歳以上の市民を対象に、結核検診と同時に市内9会場（5日間）で実施した。また、65歳以上の受診者には、結核検診も同時に行った。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果						精検未受診
				異常なし	肺がん	肺がんの疑い	経過観察	他病	不明	
760人	739人	21人	2.8%	5人	0人	1人	0人	10人	0人	5人

必要者には、喀痰細胞診検査も行った。

対象者数	受検者数
37人	36人

(5) 大腸がん検診

40歳以上の市民を対象として、問診及び便潜血検査（免疫便潜血二日法）による検診を実施した。

保健センターにおける集団方式は、胃がん検診と同時に9日間行った。個別方式は、乙訓大腸がん検診委託医療機関において9月から11月の3か月間実施した。

ア 集団方式

受診者数	便潜血陰性	要精検者数 便潜血陽性	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	大腸がん	他病	不明	
265人	243人	22人	8.3%	10人	0人	8人	0人	4人

イ 個別方式

受診者数	便潜血陰性	要精検者数 便潜血陽性	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	大腸がん	他病	不明	
3,304人	3,050人	254人	7.7%	38人	11人	121人	0人	84人

(6) 前立腺がん検診

55歳以上の男性を対象に乙訓前立腺がん検診委託医療機関で、9月から11月までの3か月間、PSA値測定（前立腺特異抗原検査）を実施した。（ ）内は、向日市国民健康保険による保健事業として実施した再掲人数である。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精 検 未受診
				異常なし	がん	肥大	他	不明	
1,733 人 (1,072 人)	1,593 人 (1,010 人)	140 人 (62 人)	8.0 %	18 人	18 人	56 人	1 人	8 人	39 人

(7) 肝炎ウイルス検診

40歳の節目に当たる人を対象として、乙訓肝炎ウイルス検診委託医療機関で、9月から11月までの3か月間、C型及びB型肝炎ウイルス検診を実施した。対象者には通知した。

	受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精検受診者	精検受診率	未受診
C 型	273 人	273 人	0 人	- %	- 人	- %	- 人
B 型	272 人	272 人	0 人	- %	- 人	- %	- 人

2 健康教育

(1) ゆっくり確実ダイエット教室 ～向日市ヘルスアップ（MHU）大作戦～

脳卒中や心筋梗塞などを引き起こす肥満、高血圧症、高脂血症、糖尿病の方を対象に、生活習慣病予防を目的として健康教育を実施した。自分自身の体や生活を振り返り、よりよい生活を選び取れるような学習や支援等を行った。

	実施回数	延べ参加者数	実 人 員
集 団 学 習	5 回	46 人	13 人

(2) 個別健康教育

糖尿病・高血圧症に関して、個別健康教育を行った。

糖尿病：1人、実施回数5回 高血圧：1人、実施回数3回

(3) はつらつ若返り教室

認知症予防及び骨・筋肉の低下を防止し、いつまでも元気に生活するにはどうしたらよいか（寝たきり予防・閉じこもり予防）について考えるための教室を行った。

実施回数	参加者数
2 回	33 人

(4) 健康づくり出前講座

おおむね10人以上の向日市民で構成する団体やグループに保健師や栄養士が出向いて、健康づくり講座を実施した。内容は、「生活習慣病予防」「若さを保とう、高齢期」「がん予防を考える」「たばこの害について」の4つのテーマから選択してもらい、各団体の希望に添って行った。

実施団体数	延べ実施回数	延べ参加者数
25 団体	62 回	710 人

(5) 歯のひろば

市民を対象に、京都府歯科医師会乙訓支部との共催で実施した。

ア 内 容 歯科健診、歯科医師との個人相談、歯科衛生士によるブラッシング指導、体験コーナー（口臭チェック・咬合力テスト）、健康教育（パネル）を実施した。

イ 実施日 6月7日（土）

ウ 来所者数 170人（うち、大人単独での来所者は、34人）

3 健康相談

(1) 健康診査結果相談会

特定健康診査等の受診後に健診結果を活用した生活習慣改善を支援するために保健センターにおいて、保健師・管理栄養士による個別相談を実施した。市が行う健診以外の受診者も対象とし、必要に応じて健康手帳やパンフレットを配布した。

ア 健康診査結果相談会

実施回数	参加者数	栄養相談	保健相談
7回	43人	22人	35人

イ 30歳代の健康診査結果説明会

実施回数	参加者数
1回	20人

(2) 各種健（検）診などあらゆる機会を捉えて、血圧測定、食事指導・生活指導等の健康相談を実施した。

実施回数	参加者数
66回	2,523人

4 訪問指導

保健師、看護師、管理栄養士による訪問指導を実施した。特定健診の受診勧奨訪問や健診後の要指導者に対する訪問を行った。

	要指導者等	閉じこもり予防	寝たきり	認知症者	特定健診受診勧奨	計
実人員	26人	1人	2人	0人	112人	141人
延べ人員	34人	1人	2人	0人	112人	149人

5 健康手帳の配付

市民の自覚的な健康づくりに役立ててもらえるよう、各種健（検）診の記録や正しい食生活に関する資料、身近な健康づくり情報を盛り込んだ「私の健康記録」を作成し配付した。

配付数：133冊

6 その他の健康づくり

「向日市健康プラン」に基づき、市民の主体的な健康づくりを支援するチャレンジウォークを開催した。

(1) 健康ウォークデーの推進

健康づくりのための歩く運動を推奨するため、平成10年4月から毎月23日を健康ウォークデーとし、健康ウォークデーの制定趣旨を広めている。

(2) チャレンジウォーク

市民の自主的な健康づくりを応援するため、平成15年度から開始している。いつでも、誰でも気軽に始められるウォーキングが継続的に取り組めるよう「ウォーキングパスポート」を配布した。

	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度	累 計
新規登録者	14 人	14 人	24 人	30 人	52 人	134 人
新規認定者	66 人	67 人	76 人	100 人	90 人	399 人

4 衛生費 1 保健衛生費 4 母子保健費

母子保健事業費（健康推進課）

1 乳幼児健康診査

乳児前期健康診査、乳児後期健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を実施した。健診内容は、内科・歯科健診（1歳6か月児・3歳児）による疾病のチェック並びに発達観察、保健、栄養、歯科指導等であった。3歳児健康診査では、視力検査、尿検査も実施している。

	実施回数	対象児数	受診児数	健康診査結果			
				異常なし	要精検 要注意	未実施	
乳児前期健康診査	23 回	578 人	576 人	359 人	217 人	0 人	
乳児後期健康診査	12	563	535	307	228	0	
1歳6か月児健康診査	一般	12	561	531	333	198	0
	歯科	12	561	530	396	134	0
3歳児健康診査	一般	12	577	552	373	179	0
	歯科	12	577	552	404	147	1
	視覚	12	577	552	507	40	5
	聴覚	12	577	552	546	2	4

2 3歳児健康診査精密検査

3歳児健康診査の結果、要精検となった児について25医療機関と契約し、精密検査を実施した。

項 目	精密検査対象者 (率)	受診者	受 診 結 果		
			異常なし	経過観察	要治療
耳鼻科	4 人 (0.7%)	2 人	0 人	1 人	1 人
眼科	32 (5.8%)	13	3	1	9
検尿	4 (0.7%)	2	2	0	0
その他の所見	8 (1.6%)	6	0	6	0

3 妊婦健康診査

平成9年度から母子保健法の改正により、市が実施主体となり、京都府下産婦人科医療機関等に委託し実施した。また、平成20年度から回数を5回に拡充して実施した。

健診内容は、第1回目（診察、尿検査、子宮がん検診、血液検査、梅毒検査、HBs抗原検査、HCV抗体検査）、第2回目（診察、尿検査）、3、4、5回目（診察、尿検査、血液検査）

	受診者数	健 診 結 果			
		指導は必要なし	要 指 導	要 治 療・ 要精密検査	不 明
1回目	506 人	379 人	81 人	37 人	9 人
2回目	506	439	62	5	0
3回目	500	304	104	90	2
4回目	492	288	103	98	3
5回目	431	262	95	72	2

妊婦健康診査助成制度

平成20年度から、委託医療機関以外の産婦人科で受診した妊婦対象に助成制度を実施した。

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	計
人数	12人	12人	14人	24人	39人	101人 (延べ人数)

4 健康教育

(1) マタニティスクール

妊婦（配偶者も含む。）を対象に、保健師・助産師・看護師・栄養士による教室を実施した。

実 施 回 数	延べ対象者数	延べ受講者数	受 講 率
20回 (全4回 5クール)	2,408 人	428 人	17.8 %
	うち初妊婦 1,140 〔 実人数 602 〕 うち初妊婦 285	うち初妊婦 260 うち 夫 5	うち初妊婦 22.8 %

第2回目をマタニティクッキングとし、向日市食生活改善推進員協議会と共催で実施した。

(2) 離乳教室

離乳食の必要性や実際の与え方進め方などについて、講話や試食を実施した。

実 施 回 数	対 象	対 象 者 数	受 講 者 数	受 講 率
12 回	生後4～5か月児の保護者	548 人	310 人	56.6 %

(3) たんぼぼくらぶ

発達情緒面に援助を必要とする児を対象に、児童心理の専門家・保健師・看護師・子育てセンター保育士でグループ指導を実施した。

	回数	来所児数	同伴兄弟	保護者数	結果（実数）	
					ポニーの学校へ紹介	発達相談・ことばの相談等で継続
前期	5回	71人	1人	67人	4人	11人
後期	5	89	7	85	2	11

(4) 歯の健康教室

2歳6か月児とその保護者を対象に、乳歯のむし歯予防のみならず、健全な歯と歯肉の育成のために、歯科健診、ブラッシング指導に加えて栄養士による食生活指導を実施した。

2歳6か月児歯の健康教室

実施回数	対象児数	来所児数	来所率	1回平均来所児数
5回	560人	428人	76.4%	85.6人

歯科健診結果

むし歯保有者	むし歯保有率	総むし歯本数
22人	5.1%	67本

(5) 1歳児教室

乳児後期健診で、運動発達・精神発達の援助を必要とする児を対象に、保健師・子育てセンターの保育士でグループ指導を平成19年度から実施した。

実施回数	対象者数	来所児数	参加率
6回	133人	86人	64.7%

(6) 2歳児教室

主に1歳9か月児健康診査で精神発達面の援助を必要とする児を対象に、フォロー教室として実施した。

実施回数	対象者数	来所児数	参加率
12回	103人	64人	62.1%

(7) 心のリフレッシュ講座

子育てに悩みや不安を抱えたり、ストレスをため込んでいる子育て中の母親を対象に、心のリフレッシュを図り、子育てを支援する講座を実施した。

実施回数	来所者数	子ども数
9回	123人	124人
(OB会) 11	210	73

5 健康相談

(1) 健康相談・栄養相談

実施回数	来 所 児 数			1 回 平 均 来 所 児 数
	乳 児	幼 児	計	
20 回	421 人	468 人	889 人	44.5 人

(2) 発達相談・ことばの相談

発達相談は昭和43年から、ことばの相談は昭和51年から開設し、家庭訪問・健診・相談等から発見された児の事後指導として実施した。

	相 談 回 数	来 所 児 数 (<small>実人数</small>)	来 所 児 数 (<small>延人数</small>)	相談結果				他機関への紹介		
				継 続	助 言 に よ り 改 善	打 切 (<small>転出含む</small>)	就 学	ポ ニ ー の 学 校 へ	こ と ば ・ き こ え 教 室 へ	医 療 機 関 へ
発 達 相 談	96	115	146	75	2	7	31	15	0	4
こ と ば の 相 談	8	12	16	6	1	1	4	0	2	0

6 家庭訪問

保健師による乳幼児等の訪問指導を実施した。

訪問者数

妊 婦	産 婦	新生児	乳 児	心身障害児	電話訪問	その他	合計
1人	498人	19人	495人	36人	87人	112人	1,248人

2歳6か月児アンケート

里帰り訪問を母子保健法の改正により平成9年度から実施 16人(再掲)

こんにちは赤ちゃん訪問延べ実施人数525人、育児支援家庭訪問事業延べ人数135人(再掲)

7 その他

(1) 2歳6か月児アンケート

2歳6か月児歯の健康教室の案内通知時に、児の発達・育児に関するアンケートを同封した。アンケートは、教室への来所時に持参してもらい回収した。アンケートの結果、要フォロー者には、地区担当保健師が電話等で育児相談や精密検査の受診勧奨などを行った。

通 知 数	アンケート 回 収 率	結 果					
		異常なし	要 フ ォ ロ ー				
			電話相談	経過観察	要 精 検	連絡とれず	その他乳 児訪問等
560 人	76.4 %	316 人	48 人	23 人	4 人	26 人	11 人

1歳6か月健診及び経過健診未受診児及びアンケートでのフォローが必要な児のうち、2歳6か月児歯の教室に未来所の児を対象にアンケートを郵送した。

対象者	異常なし	発達相談・ことばの相談	経過観察	連絡不可
38人	18人	1人	3人	16人

(2) 乙訓ポニーの学校通園児数

家庭訪問、健康診査、発達相談、ことばの相談等で発見された発達の様々な面で遅れやつまずきが心配される子どもの通園状況は次のとおりである。

	新規通園児数		小計	継続通園児数		小計	合計		合計
4月	週1回	9人	10人	週1回	21人	25人	週1回	30人	35人
	月1回	1		月1回	4		月1回	5	
7月	週1回	0	2人	週1回	30	34人	週1回	30	36人
	月1回	2		月1回	4		月1回	6	
10月	週1回	0	1人	週1回	31	36人	週1回	31	37人
	月1回	1		月1回	5		月1回	6	
1月	週1回	3	3人	週1回	27	33人	週1回	30	36人
	月1回	0		月1回	6		月1回	6	

(3) 母子健康手帳交付

母子保健法の改正により、平成4年4月から母子健康手帳を市民課で交付した。

交付件数 520件

8 不妊治療助成事業

平成15年10月1日から実施。不妊治療助成事業実施要綱に基づき、不妊治療の経済的負担の軽減を図った。

助成者数 94人

4 衛生費 1 保健衛生費 5 健康増進施設費
健康増進施設管理運営費（健康推進課）

市民の主体的な健康づくりと介護予防を推進するため、平成15年5月に向日市健康増進センターを開設した。

平成18年度から、指定管理者制度を導入し、向日市健康増進センターと向日市民温水プールを一体的に管理していくこととなった。

市民温水プール管理費（健康推進課）

市民温水プール利用状況

1 利用者数

(1) 1.5時間までの利用者数	80,717 人	（月平均	6,726 人）
(2) 1.5時間以上の利用者数	5,911 人	（月平均	493 人）
(3) 無料券及びピロティ利用者数	3,899 人	（月平均	325 人）
(4) 水中ウォーキング（8月は休講）	114 人	（月平均	10 人）
(5) スイミングスクール延べ利用者数(8月は休講)	36,714 人	（月平均	3,338 人）
(6) 市民温水プール利用者数合計	127,355 人		

2 営業日数 329 日

健康増進センター管理費（健康推進課）

健康増進センター利用状況

1 登録者数

(1) 定期利用会員数	1,020 人		
内訳	市内	483 人	（ 47.4 % ）
	市外	537 人	（ 52.6 % ）
(2) 都度利用登録者数	5,913 人		
内訳	市内	1,865 人	（ 31.5 % ）
	市外	4,048 人	（ 68.5 % ）
(3) 登録者数計	6,933 人		
内訳	市内	2,348 人	（ 33.9 % ）
	市外	4,585 人	（ 66.1 % ）

2 利用者数（年間延べ利用者数）

(1) 定期利用会員	124,570 人	（月平均	10,381人）
(2) 都度利用者	7,269 人	（月平均	606人）
(3) 健康増進センター利用者数合計	131,839 人	（月平均	10,987人）

3 営業日数 335 日

4 衛生費 1 保健衛生費 6 環境衛生費

環境政策事業費（環境政策課）

市民の理解と協力のもとに、暮らしの周辺の環境美化対策を推進し、清潔で美しい街づくりに努めた。

1 環境基本計画の推進

本市の総合的な環境施策の方向性等を示す「向日市環境基本計画」に基づき、環境保全施策を推進した。

(1) 向日市環境基本計画庁内推進会議

環境保全施策への全庁的な取組の推進や、進捗管理について検討した。

開催日：7月10日（木）

(2) 「ノーレジ袋・マイバッグ運動デー」（平成19年5月30日に創設）

・市民のごみの減量や省資源・省エネルギーに対する意識を高めるため、毎月10・20・30日を「ノーレジ袋・マイバッグ運動デー」とし、30日には街頭啓発を実施した。

(3) 向日市エコ地域推進委員会議（平成18年度に創設）

・向日市環境基本計画に基づき、環境保全活動を計画的かつ持続的に推進する会議等を実施した。

・市内のスーパー等の事業所に出向き「ノーレジ袋・マイバッグ運動」の協力依頼を実施した。

(4) 向日市地球温暖化対策実行計画策定

本市の事務事業から排出される温室効果ガスの削減目標を設定した。

2 狂犬病予防対策

狂犬病予防法に基づき、犬の登録及び狂犬病予防注射を実施した。

(1) 狂犬病予防集合注射期間 平成20年4月16日（水）～18日（金） 275頭（集合注射実施頭数）

(2) 予防注射頭数 1,657頭

3 糞害対策

マナーの向上を呼びかける看板の設置、回覧等を行った。

4 空き地雑草除去対策

空き地の管理についての指導及び暮らしの周辺を取りまく環境美化対策の啓発等を積極的に推進した。

指導件数 2件

5 不法投棄対策

・職員による日々の巡回パトロールを実施した。

・職員による定期的な夜間パトロールを実施した。

6 ごみの減量と再資源化の推進

ごみの減量と資源の再利用を促進するため、次の事業を実施した。

(1) リサイクル「ひまわり市」の開催

家庭から出る不用品、眠る不用品の再使用を図るため、フリーマーケットを開催した。

開催日 6月1日（日）、11月23日（日）

開催場所 京都向日町競輪場（6月1日）・向日市役所前駐車場（11月23日）

出店数 100店（6月1日）

60店（11月23日）

(2) 生ごみ堆肥化容器購入費補助

ごみの減量と有効利用を図るため、生ごみ堆肥化容器を購入し、設置する者に対して、購入費の一部を補助した。

年 度	16	17	18	19	20
補助金交付数	20 件	20 件	28 件	22 件	30 件
補助金交付総額	189,000 円	191,100 円	163,600 円	144,300 円	127,000 円

平成16年度から、電源を必要とする容器については、補助金の限度額を4,000円から10,000円に変更

(3) 紙パックリサイクル事業

紙パックリサイクル活動を支援するとともに、リサイクル意識の高揚に努めた。

紙パック回収量 1,000 k g

7 環境汚染の状況

(1) 公害苦情件数・推移

(単位：件)

種 別	年 度	16	17	18	19	20
大 気 汚 染		4	6	14	5	16
水 質 汚 濁		4	2	3	3	3
騒 音		0	5	0	1	9
振 動		0	0	0	0	0
悪 臭		1	8	3	4	0
そ の 他		0	0	0	1	0
計		9	21	20	14	28

(2) 光化学反応（光化学スモッグ）による大気汚染対策

注意報発令時緊急体制期間 平成20年 5月1日（木）～ 9月30日（火）

注意報発令件数（乙訓地域） 0 件

8 関係法令及び府条例に基づく特定施設等届出状況

(1) 騒音関係

(単位：件)

種 別	届 出 数
騒音規制法に基づく特定作業実施届出数	21
騒音規制法に基づく特定施設設置事業所数	44
騒音規制法に基づく特定施設数	326
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設設置事業所数	50
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設数	297

(2) 振動関係

(単位：件)

種 別	届出数
振動規制法に基づく特定作業実施届出数	9
振動規制法に基づく特定施設設置事業所数	41
振動規制法に基づく特定施設数	261
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設設置事業所数	18
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設数	67

9 調査・測定実施状況

(1) 騒音・振動関係

ア 深夜営業騒音（カラオケ騒音）調査

平成20年6月13日（金） 午後10時～午前0時

調査実施店舗 42店

イ 環境騒音実態調査（24時間測定）

(ア) 道路に面する地域

平成20年11月4日（火）～5日（水） 2地点

(イ) 一般地域

平成21年2月12日（木）～13日（金） 1地点

平成21年2月18日（水）～19日（木） 1地点

平成21年2月25日（水）～26日（木） 1地点

平成21年3月2日（月）～3日（火） 1地点

平成21年3月10日（火）～11日（水） 1地点

平成21年3月11日（水）～12日（木） 1地点

(2) 大気汚染関係

ア 市内主要箇所における一酸化炭素、一酸化窒素、二酸化窒素濃度調査

(ア) 住宅地域・商業地域・幹線道路沿線

平成20年6月10日（火） 正午～午後8時 4地点

(イ) 住宅地域・商業地域・幹線道路沿線

平成20年6月11日（水） 正午～午後8時 4地点

イ 市内2箇所において特定粉じん（アスベスト）の濃度調査

・工業地域 ・準工業地域 平成20年9月10日（水） 午前9時～午後1時

(3) 水質汚濁関係

ア 公共水域調査（河川、用水路）4河川 / 5地点

第1回 平成20年6月17日（火）

第2回 平成20年9月8日（月）

第3回 平成20年12月9日（火）

第4回 平成21年3月5日（木）

10 環境保全啓発事業

- ・環境月間 平成20年6月1日(日)～30日(月)
- ・環境月間事業 環境保全街頭啓発、公共施設内周辺清掃、クリーンプラザおとくに見学会
河川水質調査、大気汚染調査、カラオケ騒音調査、本のリサイクルデー
- ・向日市まつりにおいて、地球温暖化防止コーナー設置(11月14日・15日：向日町競輪場内)
- ・地球温暖化防止啓発チラシ「ストップ!温暖化」を各戸配布

4 衛生費 2 清掃費 1 清掃総務費

乙訓環境衛生組合費(環境政策課)

乙訓環境衛生組合の運営経費について、応分の負担をした。

4 衛生費 2 清掃費 2 塵芥処理費

塵芥収集費(環境政策課)

本市においては、市民1人当たり年間230kgのごみが、一般家庭から排出されている。

これらのごみの収集は、可燃物を週2回、資源物(分別収集)月2回実施し、市民の協力のもと環境美化に努めた。(収集量：乙訓環境衛生組合統計による。)

1 可燃物等収集量

(1) 一般家庭ごみ (単位：t)

種 別	収 集 量
可 燃 物	10,849.4
分 別 収 集	1,009.4
不 燃 物	69.2
粗 大 ご み	131.3
合 計	12,059.3

(2) 事業系ごみ (単位：t)

種 別	収 集 量
可 燃 物	3,673.5
分 別 収 集	0.0
不 燃 物	0.0
粗 大 ご み	162.1
合 計	3,835.6

有料ごみ

処 理 件 数	3,182件
手 数 料 総 額	7,074,300円

2 分別収集量(内訳)

分 類	収 集 量 (t)	率 (%)
空 カ ン	124.1	12.3
空 ビ ン	343.7	34.0
そ の 他 不 燃	277.6	27.5
ペ ッ ト ボ ト ル	79.6	7.9
その他プラスチック	166.6	16.5
廃 乾 電 池	11.0	1.1
蛍 光 灯	6.8	0.7
合 計	1,009.4	100.0

3 分別収集適正排出指導の徹底

分別収集を円滑に、より効率的に行うため、収集日等が守られていないステーションの定期的な巡回パトロール、立看板の設置等により、分別排出マナーの向上に努めた。

4 衛生費 2 清掃費 3 し尿処理費

し尿収集費（環境政策課）

1 し尿くみとり

市民生活の衛生及び環境保全を図るため、委託業者により、し尿収集を行った。

くみとり戸数	人頭制	193 戸	(年24回/戸)	
	計量制	54 か所	事業所等	291 回
くみとり量		563 kℓ		

収集量：乙訓環境衛生組合統計による。

2 浄化槽

設置数	572 基
浄化槽汚泥収集量	486 kℓ

収集量：乙訓環境衛生組合統計による。